２０２７年度

しんじゅくいるまこども園 概要

幼稚園機能利用版

しんじゅくいるまこども園概要＜幼稚園機能利用版＞

《施設・運営》社会福祉法人　いるま保育会　（法人所在地：埼玉県狭山市北入曽 1294-1）
《施 設 種 別》認定こども園（保育所型）
《所　在　地》〒162-0052　東京都新宿区戸山１－２１－１
《定　　員》園児数　１４０名

	０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
保育園機能 (長時間)	１５名	２３名	２４名	２４名	２４名	２４名	１３７名
幼稚園機能 (短時間)				**２名**	**２名**	**２名**	**６名**

※今回の受付は、上記幼稚園機能（１号）のみです。
　保育園機能（２号・３号）の入園希望者は、新宿区へ入園申し込みをお願いいたします。

《募集人員》　　受入れ人数（２０２６年１１月１８日現在）
３歳児　２０２３年４月２日 ～ ２０２４年４月１日　生まれ　　２名
４歳児　２０２２年４月２日 ～ ２０２３年４月１日　生まれ　　２名
５歳児　２０２１年４月２日 ～ ２０２２年４月１日　生まれ　　０名

《入園申込み方法》

	期　間	場　所	備　考
入園申込書 （願書）配布	随時行います	しんじゅくいるま こども園	（注 １）
申込受付	随時受け付けます （申し込みの際は、園へご連絡ください）	同 上	（注 ２）
面　接	申込受付後順次行います	同 上	（注 ３）
結果通知	面接後一週間を目途に郵送します	同 上	
入園に関する 書類配布	２月中旬 ～ 下旬	同 上	（注 ４）
入園説明会／ 健康診断	３月上旬	同 上	（注 ４）
入園前面談	３月上旬～中旬	同 上	（注 ５）

（注１）事前に園の様子をご覧なりたい場合は、ご予約の上ご参加ください。ご予約はお電話にてお願いします。
　（電話番号：03-6302-1221 受付時間：平日９：００ ～ １６：００）
（注２）申込書は受付期間内に、直接しんじゅくいるまこども園までお持ちください。
（注３）面接日時については、申込み受付時にお知らせします。
（注４）書類配布開始時期、入園説明会の開催日については、２月上旬～中旬頃お電話にてご連絡します。
（注５）入園説明会の際に、入園前面談日程を決定します。

《入園結果について》

面接後、一週間を目途に結果通知を郵送いたします。
入園内定者は、健康診断・契約書の提出をもって、入園決定とさせていただきます。

《幼稚園機能利用児・保育時間》

○月曜日 ～ 金曜日

8:30　　13:30　　17:00

	預かり保育

○夏・冬・春休み・振替休日・土曜・都民の日・開園記念日

8:30　　17:00

預かり保育

※預かり保育は、別途料金が発生いたします。

《利用料》

内容	時間	利用料金	備考要件
月～金曜日	13 時 31 分 ～ 17 時	30 分あたり 100 円 （おやつ代別）	
土曜日 夏季休業日 冬季休業日 春季休業日 振替休業日 ※1 都民の日(10 月 1 日) 開園記念日(11 月 1 日) ※2	8 時 30 分 ～ 17 時	30 分あたり 100 円 （給食費、おやつ代別）	事前申請が必要となります。

※1 振替休業日は、土曜日に行事等で登園した場合、翌週又はその週の月曜日
※2 開園記念日(11 月 1 日)は、開園記念お祝い会のため、休園日が別日に変更になることがあります。
・給食費 月額 6,000 円、預かり保育時　350 円／日
（別途おやつ代　50 円／日 ※15 時以降の預かり保育利用時のみ）
・基本保育料については、新宿区で定められた金額となります。
・別途、帽子、体操服（希望者のみ）、その他教材等を実費負担頂きます。

《持ち物について》

着替えや手拭きタオル等ご用意頂く予定です。詳細については、入園のしおりでお知らせします。

《保育・教育について》

＊保育・教育理念【共生と貢献】

社会で活躍し、社会に貢献できる子どもの育成

子ども一人ひとりの特性に応じ、発達の課題に配慮し、子どもが自発的、意欲的に関れるような環境（人的・物的・空間的）を構築し、豊かな遊びを通して総合的な保育を展開し、人生のより良いスタートの場とする。

＊保育・教育目標

子どもの主体性を育てる保育

1.子どもたちの生き生きとした笑顔と活動を保障し、主体性を育む保育（生活を作り出す力を育む）

子どもは、保育園の生活の中で「生きる力の基礎」を培っていきます。そのために日々を主体的に活動する必要があります。保育園生活の色々な場面で自ら環境に働きかける―自ら考え、判断し、行動する―活動を通して“自立と自律”を育みます。

2.子ども一人ひとりの個性を把握し、一人ひとりの特性に応じた保育（個性を育む）

子どもの活動を保障する、即ち集中する経験を大切にするために、「遊」「食」「寝」それぞれ満足のいくまで見守ります。また、著しい成長発達段階にある乳幼児においては、一人ひとりの個性・特性が育まれてきます。この時期に、個々の個人差を認め、特性を受け入れることが大切だと考え、時間で区切ることをゆるやかにし、無理の無い生活の流れの中で保育を展開します。

3.「見て、さわって、試して」子どもの自発的な遊びを保障し、子どものカを引き出す保育

乳幼児期においては、好奇心・探究心を育むことが最優先と考えています。「見る」「さわる（育てる）」「試す」など、五感を使った活動を通して、子どもたちの好奇心・探究心を引き出していきます。子どもたちは遊びを通して、学びを得ていきます。五感を使って感じた事柄でこそ、自ら課題をみつけ意欲的に活動し、達成感を味わうことができます。保育園はそのような環境を用意し、子どものカを引き出していきます。

4.大人（保育者・地域の方々）との関わり・子ども同士の関わりを通し、コミュニケーション能力を育む保育

乳幼児の社会的発達は、初めに親・保育者などの愛情豊かで思慮深い大人との関わりを通して発現します。十分に受容された経験が大人との信頼関係を築き、徐々に働きかける対象を広げ、他の子どもとの間でも相互の関わりを持ちます。その中で、自分の感情や意志を表現したり、相手の気持ちに気づいたり、共感したり、また我慢など感情をコントロールすることを学び、集団に適応できる力を育んでいきます。保育園では、子ども同士が意図して関わりが持てるような環境や保育を計画し、「自律」の力を引き出します。また、地域の人々と触れ合い、様々な個性と関わることも保育園の目的のひとつと考えます。

《こども園での１日》

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">保育園機能の利用（長時間保育児）</td><td>幼稚園機能の利用
（短時間保育児）</td></tr>
<tr><td></td><td>０．１．２歳児</td><td>３．４．５歳児</td><td>３．４．５歳児</td></tr>
<tr><td>7:30</td><td rowspan="2">開園・登園
健康状態の視診
自発的な遊びの時間</td><td rowspan="2">開園・登園
健康状態の視診
自発的な遊びの時間</td><td></td></tr>
<tr><td>8:30</td><td>登園
健康状態の視診</td></tr>
<tr><td>9:30</td><td>午前おやつ
選択による保育・教育の時間</td><td rowspan="2">選択による保育・教育の時間</td><td rowspan="2">選択による保育・教育の時間</td></tr>
<tr><td>１0:00～</td><td>昼食（離乳食）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">１2:00～</td><td rowspan="3">午睡</td><td>昼食</td><td>昼食</td></tr>
<tr><td rowspan="2">午睡</td><td>預かり保育の場合：午睡
１３：３０降園の場合：降園準備</td></tr>
<tr><td>１3:30</td><td>降園</td></tr>
<tr><td>１5:１０</td><td>午後おやつ</td><td>午後おやつ</td><td>午後おやつ（以後、預かり保育）</td></tr>
<tr><td>１6:00</td><td rowspan="2">降園準備
夕方保育</td><td rowspan="2">降園準備
夕方保育</td><td>降園準備</td></tr>
<tr><td>１7:00</td><td>預かり保育降園</td></tr>
<tr><td>１8:30</td><td>延長保育</td><td>延長保育</td><td></td></tr>
<tr><td>２0:30</td><td>閉園</td><td>閉園</td><td></td></tr>
</table>

・午後の預かり保育を利用するお子様は、お子様の様子に応じて午睡をとります。

メ　　モ

メ　　モ


luma